

**あいさか 相坂トンネル**

あいさか村から谷山新村へ行くためには現在のトンネルの南側の山をこえる険しい山道がなく、通行が難しい場所でした。大正10年(1921)にトンネルが完成しました。長さ76mのアーチ型トンネルはレンガでできていて、地区内では数少ない近代化遺産です。

行った日



**あきまつ 秋祭り(香寺事務所庁舎前駐車場)**

地区内のいろいろな場所で、毎年10月に作物が豊かに実ったことを祝う秋祭りが一斉に行われます。祭りではご先祖さまから受け継がれてきた伝統行事の数々が神社におさめられます。本宮には各地区の屋台が庁舎前駐車場に集合し、力強く練られる様子は豪快です。

行った日



**いぬかいし しまい 神明獅子舞(神明神社)**

言い伝えや天明2年(1782)の「犬飼村寺社明細帳」という本の写し、太鼓の経歴などによると、犬飼獅子舞は天明年間より前のものと考えられています。獅子の舞いは16種類あって、歌舞、剣舞、四方舞という三つの大切な舞いは、人身御供伝説を思わせる神楽と言われています。

行った日



**おおごまくよう ころやくしどう 大護摩供養(香呂薬師堂)**

2月3日に薬師堂で行者(山伏)7~8人を招待して厄よけの大護摩供養が行われています。信者の代表、厄年の人が準備をして薬師堂の中で内護摩供養を行い、前の広場では大護摩(外護摩)をたきます。

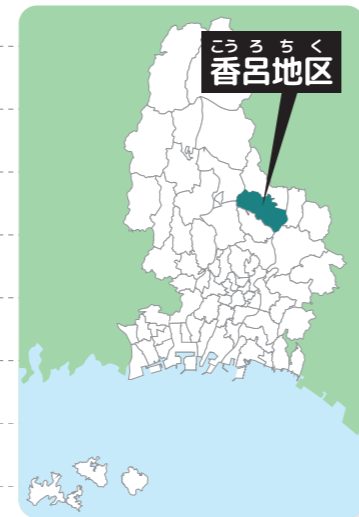
行った日



**おにお 鬼追い**

八徳山八葉寺では、播磨天台六ヶ寺で行われる伝統行事「鬼追い」が播州地方のトップをきって、1月7日に行われます。青鬼は不動明王が姿を変えたもの、赤鬼は毘沙門天が姿を変えたもので、現在使っている鬼のお面は元禄年間ものといわれています。

行った日



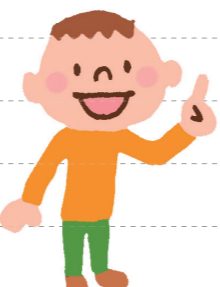
香呂地区

69 香呂地区

香呂地区には犬飼の獅子舞や八葉寺の鬼追いなど、古くから行われている行事があります。これらの行事にはどんな意味が込められているのか、調べてみましょう。



調べたこと、  
わかったことを  
書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 伝統芸能など
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 美術品
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他



**こうでら そうごうこうえん 香寺総合公園スポーツセンター**

野球場やテニスコート、武道場、柔道場、トレーニング室などが入っている武道館もあるスポーツセンターです。多目的広場はさまざまなレクリエーションに利用されています。約170台の車がとめられる駐車場もあります。

行った日



**こうでら なつ 香寺夏祭り**

毎年8月上旬に香寺総合公園スポーツセンター多目的広場で開催されるお祭りです。やぐらのまわりでは、「香寺首領」や「炭坑節」にあわせて、盆踊りが行われます。花火も打ち上げられます。

行った日



**じゃけつじんじや 蛇穴神社**

まつられているのは市杵島姫命で、神さまの使いである海の生物にちなんだ絵馬がたくさんおさめられています。中でも、たこが袴をつけている絵馬はとてもユニークで、明治時代から大正時代ごろのものと言われています。市の文化財に指定されています。

行った日



**にほんがんく はくぶつかん 日本玩具博物館**

白壁の土蔵造りの六つの建物の中に、日本の昔のおもちゃや駄菓子屋のおもちゃ、世界の150の国のおもちゃなど約8万点が集められています。いつでも見られる展示のほか、1号館と6号館の二つの建物では季節ごとに特別に見られる展示が開かれています。

行った日

etc



**はつとくさん はちようじ 八徳山八葉寺**

天平年間、行基によって開かれました。平安時代の終わりごろに寂心が七堂伽藍を建てました。播磨天台六ヶ寺の一つです。書写山円教寺の性空上人から寂心へ贈られたと伝えられる沐浴の湯釜(市指定文化財)、厨子(県指定文化財)など、たくさん文化財があります。

行った日

